

福知山市の総合的な市政運営
の計画について

(答 申)

福知山市総合計画審議会

答 申 書

平成27年11月2日

福知山市長 松山 正治 様

福知山市総合計画審議会
会長 井口 和起



福知山市の総合的な市政運営の計画について（答申）

平成27年7月23日付け企画発第3.0号をもって諮問のあった福知山市の総合的な市政運営の計画の策定について、下記のとおり答申します。

記

福知山市においては、平成24年3月に第4次福知山市総合計画後期計画を策定され、市政運営に鋭意努力されているところですが、この間、福知山市を取り巻く自然・社会環境はかつてない大きな変化と複雑さを見せています。

地球温暖化や大規模災害の頻発、わが国の人口減少時代への突入、少子・高齢化の一層の進行、急激な社会・経済の国際化と地域間競争の激化など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。

地方自治体には、住民生活の安心・安全対策の一層の強化や地域社会の再生・活性化など、中・長期的な展望にたった諸施策の立案・遂行が強く求められています。

今後のまちづくりの指針となる「福知山市の総合的な市政運営の計画」では、中・長期にわたり福知山市に影響を及ぼすこれらの自然や社会の大きな変化をふまえて、地方自治体が直面する課題解決に向かって柔軟かつ的確に対応する基本的な方向性を示し、めざす将来像である「多様性あふれる高次機能都市」の実現には市民・地域・ボランティア・NPO・事業者と行政が総力を結集し、市民協働で取り組むことが重要であるとしています。

本審議会は、「未来創造 福知山」(素案)について慎重な審議を重ねた結果、諮問されたその内容が概ね妥当であるものと認め、審議経過を踏まえて、所要の修正を施し、かつ次の意見を附言して答申します。

1 基本的事項

本計画の推進にあたっては「多様性あふれる高次機能都市」の実現に向け、まちづくりの目標を市民と共有し、多様な主体の参画を促進するなど、実効ある市民協働によるまちづくりが必要である。

また、限られた経営資源を有効に活用するため、本計画における各施策の重点化を行い、計画期間内での進捗を図るため、成果指標等を設定し、適切な進行管理を行う必要がある。

2 重点事項

特に、次の事項に意を用い、重点的に推進されたい。

(1) 誰もが安心して暮らせるように子育て、教育、雇用、医療、福祉、防災が充実した福知山市づくりに努めること。

(2) 地域コミュニティが機能し、一人ひとりの思いが大切にされ互いに認め合い、支え合う信頼の絆で結ばれた福知山市づくりに努めること。

(3) 時代の変化に対応した生活、産業、地域の成長と発展を実現する多様性にあふれ新しい価値を創造する福知山市づくりに努めること。

(4) 豊かな自然、歴史や文化に培われた地域資源、そこに住む人々が郷土への愛着と誇りを持ち、未来に向けてしっかりと守り育て伝えることができる希望にあふれた福知山市づくりに努めること。

3 留意点

各種施策の推進にあたっては、国・府その他関係機関および近隣市町と協調するように努められたい。

以上